

# 【親睦と体力づくり】

鈴木 隆夫

私がソフトボールに誘われたのは二十六年前でした。親睦と体力づくりということで禾生チームに入会させていただきました。

その後都留市ソフトボール協会より、禾生地区に家庭婦人のチームを作ってほしいとの要請があり、女性でソフトボールに詳しい方と相談し二十三年前禾生オリーブというチームができました。親睦と体力づくりをテーマに、初めてボールを握るといいう人もいることから無理をせず、基礎練習に力を入れ、地道な練習の積み重ねと三年間の努力で、満足にボールが投げられなかった女性も男性に負けない投球ができるようになりました。現在はレディースの部で都留市協会の大会、NHKの大会にも出場して頑張っています。そのような関係で、禾生体振ソフトボール部の専門部長もさせていただいています。

今、禾生地区には壮年、実年、シニア、レディースと年齢にあつた部門での活動が行われています。

レディースの部では、県の大大会には弁当を持参し、試合後反省しながらの食事は緊張からの解放もあり、楽しいひと時となり二十三年間監督として満足しているところとす。

また、実年、シニアチームの県大会は夏の大会が多いので試合後石和温泉で一日の疲れを取り帰宅しています。また、チームのモットーである親睦と体力づくりということで、春秋ゴルフ大会も開催しています。日頃の疲れも忘れ皆楽しんでます。

今、事務局を担当していますが、五十歳、六十歳ともなると誕生日も忘れがちになりますが、私が企画し三十五人の会員の誕生日にはケーキを各自宅に配っています。これも皆さんの日頃のご協力の感謝の気持ちと思っています。

最後になりましたが、三月から十月まで桂高校のグラウンドで毎週水曜日多数の参加のもと練習に励んでいます。これからも益々の親睦と体力づくりに励み、一番大切な人の輪を大事に頑張っていきたいと思えます。



## 生涯学習通信 生涯学習推進会議

### のびのび いきいき 生涯学習

#### 『わたしの生涯学習』



# 【私の生涯学習感】

直井 義弘

「学習」この言葉のイメージは子どもの頃から、あまり好きではありませんでした。

学び・習う、そして自分を高めていく。確かに素晴らしい事なのですが、私の場合は、どうも自分の意思ではなく、周りから学習を強いられていたような気がします。今思えば、余り自身身の上昇指向はなかったようです。

多くの諸先輩の方々が、趣味・特技の世界で、生涯学習を实践していらつしやるのは、ひとつの生き方として素晴らしいことだと思います。

ただ私の場合、少し違った生涯学習感というものを持っています。日々、多くのことに積極的に興味を持ち、考え、地域の中で社会生活を送っていくことが、私自身の生涯学習につながるのではないかと考えています。そして、今までの人生で得たものを、将来多少なりとも地域社会に還元することができれば、私が考える生涯学習の実践というものに近づけるのではないかと考えています。

私にとつて地域にかかわる社会生活とは、平成十四年度に、都留市の青少年育成会連合会会長の役が回ってきたことに起因します。

昨年は、青少年育成に関する様々な会議・行事に出席させていただき、多くの方々の青少年育成に対する考え方や、いろいろな視点から、社会と青少年のかかわり、また青少年育成の在り方などを知る事ができました。

そして、私自身の学習塾経営という工作上、日常的に多くの青少年たちと接する機会を持ち、より青少年の育成について実感し、考えさせられた一年でした。

この貴重な体験を、将来少しずつでも地域社会に還元できれば私の考える生涯学習の実践になるのではないかと考えています。

